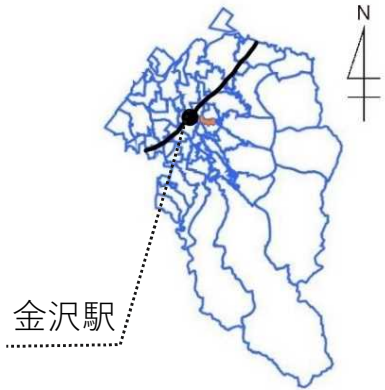


馬場校区

国勢調査から見える校区のすがた

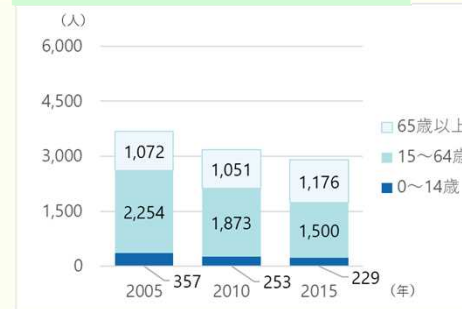
ひとめでわかる



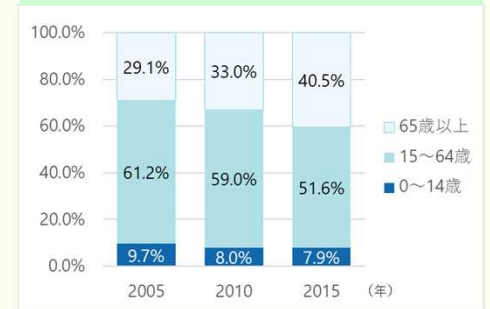
1 人口・世帯数



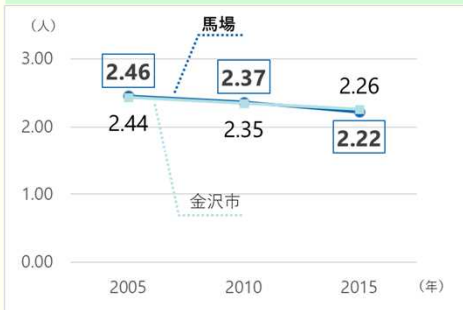
2 年齢3区分別人口



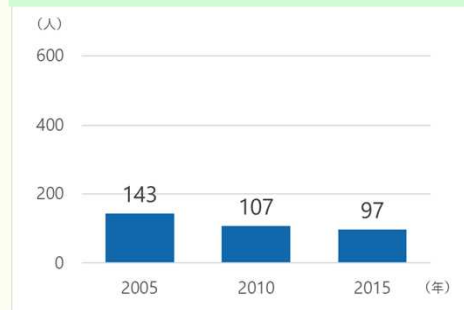
3 年齢3区分別人口割合



4 1世帯当たり人員



5 校区在住児童数[6-11歳]



6 高齢世帯数



7 住宅の建て方割合



8 家族類型



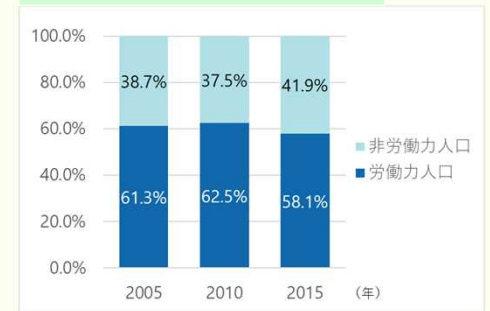
9 家族類型割合



10 労働力人口



11 労働力人口割合



準備中

※ 国から提供される2020年国勢調査の詳細結果を踏まえ、2022年8月頃に公表予定です。

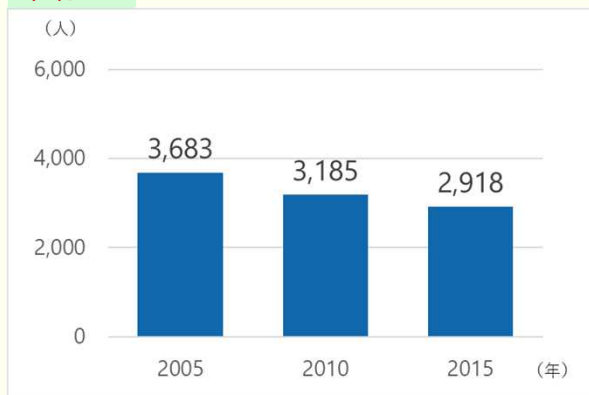
I 概要 人口 2,918人 2010年に比べ▲267人

2015年国勢調査による10月1日現在の馬場校区の人口は2,918人で、2010年に比べ▲267人となっている。
世帯数は1,314世帯で、2010年に比べ▲32世帯、1世帯当たり平均世帯人員は2.22人で、2010年に比べ▲0.15人となることから、世帯規模が縮小していることがわかる。

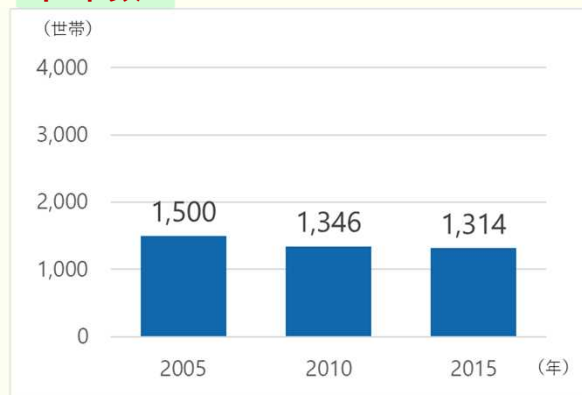
人口（男女別）及び世帯数

年	人口[人]					世帯[世帯]			
	総数	増減数	増減率	男	女	総数	増減数	増減率	1世帯当たり 平均世帯人員[人]
2005	3,683	—	—	1,665	2,018	1,500	—	—	2.46
2010	3,185	▲498	▲13.5%	1,452	1,733	1,346	▲154	▲10.3%	2.37
2015	2,918	▲267	▲8.4%	1,301	1,617	1,314	▲32	▲2.4%	2.22

人口



世帯数



2 人口 65歳以上人口が増加

年齢3区分別人口をみると、0～14歳人口は229人、15～64歳人口は1,500人、65歳以上人口は1,176人で、構成比はそれぞれ7.9%、51.6%、40.5%となり、2010年に比べ、人口、構成比ともに0～14歳人口と15～64歳人口は減少、65歳以上人口は増加している。2010年との比較を増減数[増減率]でみると、0～14歳人口は▲24人[▲9.5%]、15～64歳人口は▲373人[▲19.9%]、65歳以上人口は+125人[+11.9%]となっている。

また、年齢3区分別人口の構成比の推移をみると、0～14歳人口と15～64歳人口の構成比は一貫して減少し続けており、65歳以上人口の構成比は一貫して増加し続けている。

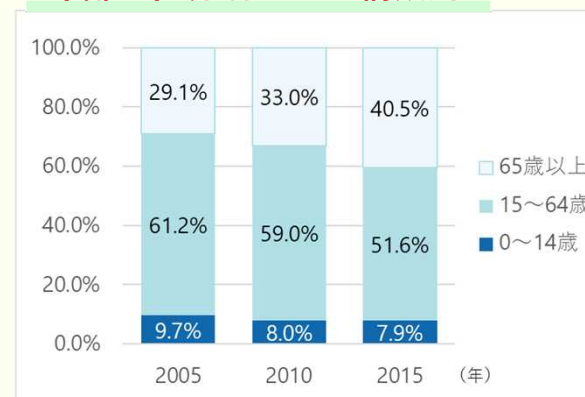
年齢3区分別人口 ※総数には年齢「不詳」を含む

年	人口[人]				構成比				増減率			
	総数	0～14歳	15～64歳	65歳以上	総数	0～14歳	15～64歳	65歳以上	総数	0～14歳	15～64歳	65歳以上
2005	3,683	357	2,254	1,072	100%	9.7%	61.2%	29.1%	—	—	—	—
2010	3,185	253	1,873	1,051	100%	8.0%	59.0%	33.0%	▲13.5%	▲29.1%	▲16.9%	▲2.0%
2015	2,918	229	1,500	1,176	100%	7.9%	51.6%	40.5%	▲8.4%	▲9.5%	▲19.9%	11.9%

年齢3区分別人口



年齢3区分別人口の構成比



3 世帯 単身者、2人世帯、3人世帯が増加

(1) 世帯数及び世帯人員

一般世帯数は1,314世帯で、増減率の推移をみると、2010年が▲10.3%、2015年が▲2.4%と一貫して減少し続けている。

世帯人員別の増減率をみると、1人～3人世帯、7人以上の人員の世帯が増加している一方、4人～6人世帯は減少している。

また、世帯人員別の構成比は、1人世帯が34.2%と最も大きく、次いで2人世帯、3人世帯と、世帯人員が多くなるほど小さくなっている。

世帯人員別一般世帯数

年		総数	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人以上
一般世帯数 [世帯]	2005	1,500	444	456	274	198	75	38	15
	2010	1,346	426	427	217	174	66	24	12
	2015	1,314	450	439	227	123	52	10	13
構成比	2005	100%	29.6%	30.4%	18.3%	13.2%	5.0%	2.5%	1.0%
	2010	100%	31.6%	31.7%	16.1%	12.9%	4.9%	1.8%	1.0%
	2015	100%	34.2%	33.4%	17.3%	9.4%	4.0%	0.8%	0.9%
増減率	2005	-	-	-	-	-	-	-	-
	2010	▲10.3%	▲4.1%	▲6.4%	▲20.8%	▲12.1%	▲12.0%	▲36.8%	▲20.0%
	2015	▲2.4%	5.6%	2.8%	4.6%	▲29.3%	▲21.2%	▲58.3%	8.3%

3 世帯

(2) 世帯の家族類型

一般世帯数について、その世帯主と世帯員の続柄により家族構成を類型化（家族類型）してみると、「核家族世帯」は726世帯と、一般世帯の55.3%を占めており、2010年に比べ▲22世帯[▲2.9%]となっている。また、世帯人員が一人の「単独世帯」は450世帯で、2010年に比べ+24世帯[+5.6%]となっている。

世帯の家族類型別一般世帯数

年		総数	単独世帯	核家族世帯	その他の世帯
一般世帯数 [世帯]	2005	1,500	444	832	224
	2010	1,346	426	748	172
	2015	1,314	450	726	138
構成比	2005	100%	29.6%	55.5%	14.9%
	2010	100%	31.6%	55.6%	12.8%
	2015	100%	34.2%	55.3%	10.5%
増減率	2005	—	—	—	—
	2010	▲10.3%	▲4.1%	▲10.1%	▲23.2%
	2015	▲2.4%	5.6%	▲2.9%	▲19.8%

3 世帯

(3) 高齢世帯

一般世帯のなかで、「高齢単身世帯」は272世帯で、2010年に比べ+54世帯[+24.8%]であり、一般世帯の20.7%を占めている。また、「高齢夫婦世帯」は229世帯で、2010年に比べ+22世帯[+10.6%]であり、一般世帯の17.4%を占めている。

高齢世帯数

年	一般世帯数 [世帯]	高齢単身世帯 [世帯]	一般世帯に 占める割合	増減率	高齢夫婦世帯 [世帯]	一般世帯に 占める割合	増減率
2005	1,500	243	16.2%	—	200	13.3%	—
2010	1,346	218	16.2%	▲10.3%	207	15.4%	3.5%
2015	1,314	272	20.7%	24.8%	229	17.4%	10.6%

※ 高齢単身世帯は、65歳以上の一人のみの一般世帯。

高齢夫婦世帯は、夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦1組のみの一般世帯。

4 住宅 持ち家以外に住む世帯を中心に一般世帯が減少

(1) 住宅の所有関係

住宅に住む一般世帯の所有関係別世帯数をみると、持ち家に住む世帯の方が多く、1,065世帯[構成比83.7%]と全体の約8割を占めている。

また増減率をみると、2010年に比べ持ち家に住む世帯が▲1.8%、持ち家以外に住む世帯が▲16.2%となっている。

住宅に住む一般世帯の所有関係別世帯数

年		総数	持ち家	持ち家以外
実数[世帯]	2005	1,479	1,165	314
	2010	1,332	1,085	247
	2015	1,272	1,065	207
構成比	2005	100%	78.8%	21.2%
	2010	100%	81.5%	18.5%
	2015	100%	83.7%	16.3%
増減率	2005	—	—	—
	2010	▲9.9%	▲6.9%	▲21.3%
	2015	▲4.5%	▲1.8%	▲16.2%

4 住宅

(2) 住宅の建て方

住宅に住む一般世帯の住宅の建て方別構成をみると、一戸建に住む世帯が1,044世帯と最も多く、住宅に住む一般世帯の82.1%を占めている。以下、多い順に共同住宅に住む世帯が192世帯[構成比15.1%]、その他の住宅に住む世帯が36世帯[同2.8%]となっている。

また増減数[増減率]をみると、2010年に比べ一戸建に住む世帯が▲41世帯[▲3.8%]、共同住宅に住む世帯が▲12世帯[▲5.9%]となっている。

住宅に住む一般世帯の住宅の建て方別世帯数

年		総数	一戸建	共同住宅	その他
住宅に住む 一般世帯数 [世帯]	2005	1,479	1,213	233	33
	2010	1,332	1,085	204	43
	2015	1,272	1,044	192	36
構成比	2005	100%	82.0%	15.8%	2.2%
	2010	100%	81.5%	15.3%	3.2%
	2015	100%	82.1%	15.1%	2.8%
増減率	2005	—	—	—	—
	2010	▲9.9%	▲10.6%	▲12.4%	30.3%
	2015	▲4.5%	▲3.8%	▲5.9%	▲16.3%

5 労働 労働力人口が減少

15歳以上人口は2,676人で、2010年に比べ▲248人[▲8.5%]となっている。労働力人口は1,516人で、2010年に比べ▲207人[▲12.0%]、非労働力人口は1,094人で、2010年に比べ+61人[+5.9%]となっている。労働力率は56.7%で、2010年に比べ▲2.3ポイントとなっている。

男女ともに労働力人口が減少している。

		15歳以上人口			労働力人口			非労働力人口			労働力率		
年		総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
人口 [人]	2005	3,326	1,490	1,836	2,015	1,066	949	1,274	404	870	60.6%	71.5%	51.7%
	2010	2,924	1,323	1,601	1,723	917	806	1,033	332	701	58.9%	69.3%	50.3%
	2015	2,676	1,180	1,496	1,516	769	747	1,094	384	710	56.7%	65.2%	49.9%
増減数 [人]	2005	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2010	▲402	▲167	▲235	▲292	▲149	▲143	▲241	▲72	▲169	▲1.7	▲2.2	▲1.3
	2015	▲248	▲143	▲105	▲207	▲148	▲59	61	52	9	▲2.3	▲4.1	▲0.4
増減率	2005	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2010	▲12.1%	▲11.2%	▲12.8%	▲14.5%	▲14.0%	▲15.1%	▲18.9%	▲17.8%	▲19.4%			
	2015	▲8.5%	▲10.8%	▲6.6%	▲12.0%	▲16.1%	▲7.3%	5.9%	15.7%	1.3%			

※増減の単位は[ポイント]

※労働力率は四捨五入のため、増減の表記と計算結果が一致しないことがある。

※ 15歳以上人口 = 労働力人口 + 非労働力人口 + 労働力状態「不詳」の人口

労働力率 = 労働力人口 / 15歳以上人口

労働力率は、労働力として経済活動に参加している人の比率をみる指標として利用されている。